

東京CS

しんぶん

《 第13号 》

- テーマ「身の回りのサイン」
- テーマ「情はサインにあらわれる」
- 小津和紙・紙すぎ体験

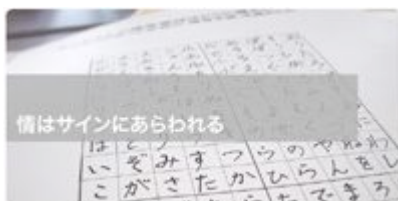


身の回りのサイン

### ■テーマ「身の回りのサイン」

(たつツツー低学年クラス) 2005年10月24日～

■街を歩き、標識や看板をカメラでパシャリと撮影します。スクールで撮り集めた写真を発表。全部あわせて100枚位でしょうか。たくさん集めました。外に出ると切りがないくらい記号やマークだらけだということがわかりました。■記号集めと平行して、さっそく家で自主研究。犬はご遠慮くださいという意味の「ざんねんマーク」、バンクラスの子たちへ向けて作られた「うるさいマーク」。■「うるさいマーク」のように、スクールの中にあると役に立つマークをもっと作ってみようと、考えています。階段には「スリッパ注意マーク」をつけました。歩く人の目に注意マークが入るかどうか、階段の下から、降りてくる人の目の動きを確かめていました。■廊下には、「9-10」という数字の入った「うるさいマーク」をつけました。9-10という数字は、午前9時～10時までは有効という意味です。スクールの9時～10時は、ひとりで静かに学ぶ、ひと日・ひと算の時間です。■道路標識や、お店や自動販売機などに張ってあるマークに着目するうちに、どんどん興味は波及し、お菓子やペットボトル、ノートや洋服などに表示されているマークも調査対象になりました。

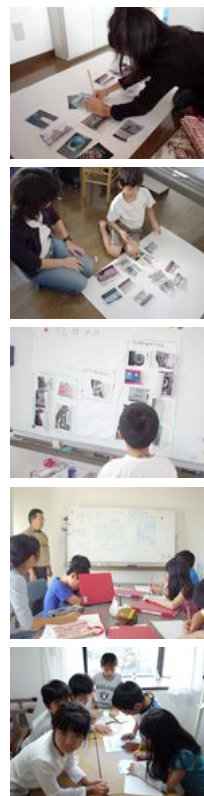


情はサインにあらわれる

### ■テーマ「情はサインにあらわれる」

(バンー中学年・高学年クラス) 2005年10月24日～

■人や物から発せられるサインをキャッチしよう、ということで、撮り集めた街の看板などの写真を“仲間”ごとに分けてみます。■「意味のわかる看板」「意味の分からない看板」「小さい看板」「大きい看板」「明るい看板」「暗い看板」「お店の看板」「英語で書かれた看板」などの分け方ができることを発見。■それぞれが考えた分け方を発表してみると、駅前英会話教室の看板を「意味がわかる」の仲間にした子がいれば、同じ看板を「意味がわからない」の仲間に入れた子もいました。■情報を正確に伝えるというのは、意外と難しいことなのかも・・・、と思い始めた子どもたちに、おっちゃんが1枚の紙と、何力所か四角くくり抜かれた6枚の画用紙を配りました。■おっちゃんの携帯が何者かによって隠されてしまいました。この暗号に隠されたメッセージを読み解いて、おっちゃんの携帯を探し出してください。ただし、これは6人が、力を合わせなければ解けない暗号です。■大人は入ってくるな！と、部屋に閉じこもると、子どもだけで、がやがやとごうごうと暗号解読に燃えていました。一斉に部屋から飛び出していく子どもらを見送って部屋へ入ってみると、ホワイトボードに「ひみつのたからもののありかはきゅうきゅうばこだよ」の文字。見事にメッセージを読み取る事に成功したようです。



## ■小津和紙紙すき体験

2005年10月31日

■江戸日本橋、創業1653年の小津和紙さんへのご好意で、子どもたちに紙すき体験をさせていただけることになりました。ザ・生活「達人」の一環として全員でかけました。■和紙すき、達人のお手本を拝見させていただいた後は、子どもたちの番です。とろろあおいの根からとれるねばねばの糊を水、和紙の原料とよくまぜます。和紙の繊維をすくい上げて1、2、3、4・・・揺すります。このゆすりが均等にゆきわたれば美しい和紙が誕生します。■完成した和紙をみて微笑む子ども。それにしても、「みなさんお上手ですねー！」と先生方から褒められていた子どもたちの和紙。確かに失敗らしい失敗をした子もなく、どれも美しい仕上がり。失敗してもよいのですが。。子どもたちからは、楽しかった！またやりたい！との声。よくできました。



### 東京コミュニティスクール Tokyo Community School

〒166-0012東京都杉並区和田3-37-5第5鴨下ビル(1F~4F/屋上)  
TEL//03-3313-8717 FAX//03-5305-7234 E-mail//school@tokyocs.org  
東京CSしんぶん 編集長//市川 力 編集委員//川口 誠

 <http://tokyocs.org/>